

# ブナコ 株式会社

URL:<http://www.bunaco.co.jp/>

青森県弘前発、クールジャパン、世界へ。  
ブナに命を吹き込む手仕事の、至極の技が冴える。

BUNACO が世界へ躍進するチャンスが巡ってきた。フランス・パリで開催される  
インテリアの国際見本市、その特等席ともいえる「NOW!」コーナーに出展する。



## Step-1 海外からも注目

青森のブナの木の活用から生まれたBUNACO 製品、  
世界中から引き合いが増えている。



工場で製品の説明をする倉田社長

低音だがよく通る声で、てきぱきとスタッフに指示を出す。おそらくパリの見本市会場でも次々に訪れる世界のバイヤー達と堂々と渡り合っているのだろう、そんな風景が容易に想像できた。倉田社長の第一印象である。

ブナコは、ブナの木のやわらかな質感を生かしたインテリア製品やテーブルウェア「BUNACO」を製造、販売。青森県弘前市の中小企業の製品がハイセンスなデザインで、世界から注目を集めている。



照明器具



製作ルームの成型作業

## 【工程】



イヤーたちが毎年訪れており、ここで評価されれば名実ともに“世界のBUNACO”になれるはず」と倉田社長。ブランドイメージの世界展開が現実のものとなりつつある。

**Step-4 今後のビジョン**  
 フランスで組立て、ヨーロッパに売る。  
アメリカへの進出も可能に。

営業に出ることができた。反響は上々で、BUNACOブランドはこれまで外資系高級ホテルや海外のプレミアム、レストランなどにも採用されている。2008年の北海道洞爺湖サミットでは各国首脳ご夫妻への土産品にも採用された。どの製品にも通じる木肌のあたたかな温もりと、高級感を併せ持つデザイン性が、BUNACOを世界で通用する商品に高めたといつても過言ではない。

**Step-3 海外でブランド構築**  
 初めての快挙！パリのインテリア国際見本市で、  
名誉あるHALL8「NOW!」コーナーに出展。

倉田社長は、“BUNACOはパリで売られている”というブランドイメージを植え付けたいという。そのためフランス・パリで開かれる欧州最大級のインテリア・デザイン見本市「メゾン・エ・オブジェ」に、県や国、日本貿易振興機構(ジェトロ)、日本公庫から支援を受け、出展し続けていた。2015年1月で9回目、ついにホール8「NOW!」のブースを獲得した。このホール8には誰でも出展できるわけではなく、デザイン性、環境への配慮など、あらゆる視点から優良と主催者に認められた企業しか出展できない。「たぶん日本の中小企業で、初めての単独ブースだと思います。著名な建築家やデザイナー、インテリア関係のバ



ブナコを代表するテーブルウェアの数々

ので、次の目標はニューヨーク進出です。新たなターゲットに向けて倉田社長の挑戦は続く。



弘前のショールーム

## Interview» 社長インタビュー

パリでBUNACOをブランド化して、  
世界へ打って出たい。

倉田 昌直氏  
ブナコ株式会社 代表取締役

「メゾン・エ・オブジェ 2015」の「NOW!」  
コーナーに出展が決まったことで、久々に興奮しています。  
インテリア界の「パリコレ」と言われる見本市で、主催者が

クリエイティビティを認めてくれたということですから、このチャンスを逃さず、BUNACOブランドを世界にアピールをしたいと思っています。本当に世界中からバイヤーがホール8「NOW!」コーナーめがけてやってくるんですよ。青森県知事を表敬訪問した際、これを契機に世界へ販路を拡大したいこと、青森県内の企業もひるむことなく海外進出できるよう青森県についてもPRしてくることを伝えてきました。